



2022年11月10日

各位

上場会社名 株式会社 加藤製作所  
代表者 代表取締役社長 加藤 公康  
(コード番号 6390)  
問合せ先責任者 執行役員財務統括部長 柳原 秀匡  
(TEL 03-3458-1130)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表しました2023年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

|                          | 売上高           | 営業利益         | 経常利益         | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|--------------------------|---------------|--------------|--------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想(A)                | 百万円<br>64,100 | 百万円<br>1,300 | 百万円<br>1,000 | 百万円<br>600              | 円 銭<br>51.21   |
| 今回修正予想(B)                | 60,500        | 100          | 400          | 1,000                   | 85.34          |
| 増減額(B-A)                 | △3,600        | △1,200       | △600         | 400                     | —              |
| 増減率(%)                   | △5.6          | △92.3        | △60.0        | 66.7                    | —              |
| (ご参考) 前期実績<br>(2022年3月期) | 63,549        | △7,222       | △6,929       | △9,575                  | △817.19        |

#### 2. 修正の理由

第2四半期累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）の実績は、鋼材を始めとする原材料の高騰や、中国のゼロコロナ政策及びロシア・ウクライナ情勢に起因したサプライチェーンの混乱など厳しい事業環境下で推移しましたが、中期経営計画に基づく各種施策が実を結んできたことや、為替の影響もあり損益面において前期実績から大幅に改善いたしました。

しかしながら、通期連結業績の見通しは、第3四半期以降も国内における部品の供給不足に伴う生産への影響や、中国における建設需要の低迷が引き続き継続するものと見込んでおり、売上高は当初計画数値を下回る見込みです。

営業利益及び経常利益については、原材料の高騰及び部品不足による工場稼働率の低下による原価の上昇や、中国市場での売上高の減少により、為替の影響を考慮しても当初計画数値を下回る見込みです。

一方で親会社株主に帰属する当期純利益については、2022年10月7日公表いたしました「固定資産の譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」にてお知らせいたしましたとおり、建設を中断していた工場用地及び建物の売却による、譲渡益約960百万円を今回発表の予想値に含めたため、当初計画数値を上回る見込みとなりました。

第3四半期以降の平均為替レートは1米ドル=138円を前提としております。

なお、配当予想につきましては、前回発表いたしました予想からの変更はございません。

(注)上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以上